

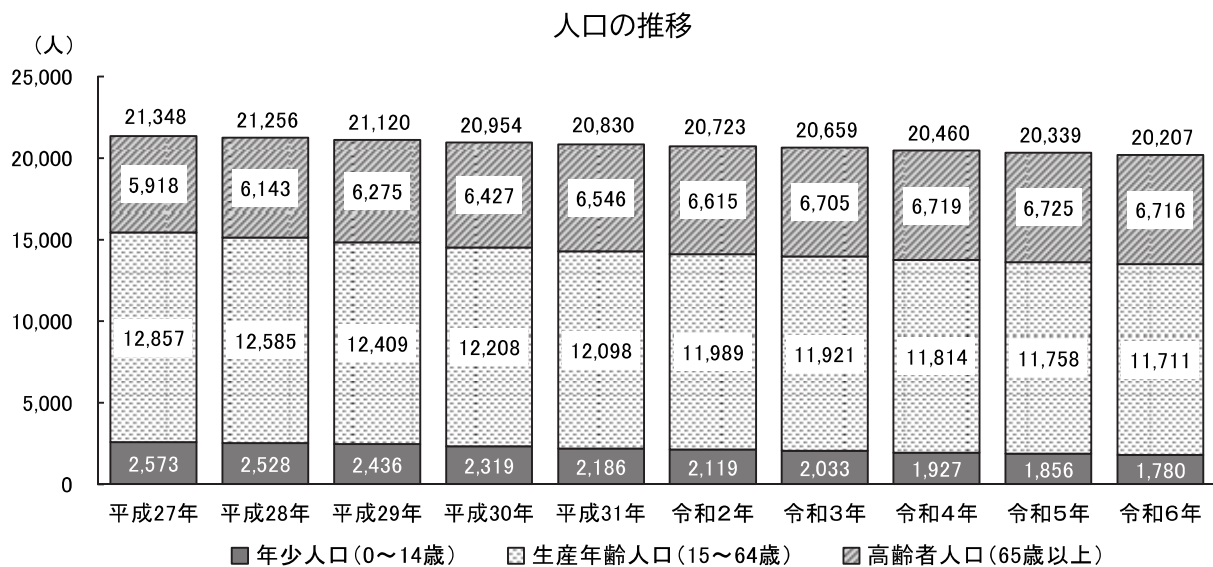
第3章 健康づくりを取り巻く現状と課題

1 人口・世帯の状況

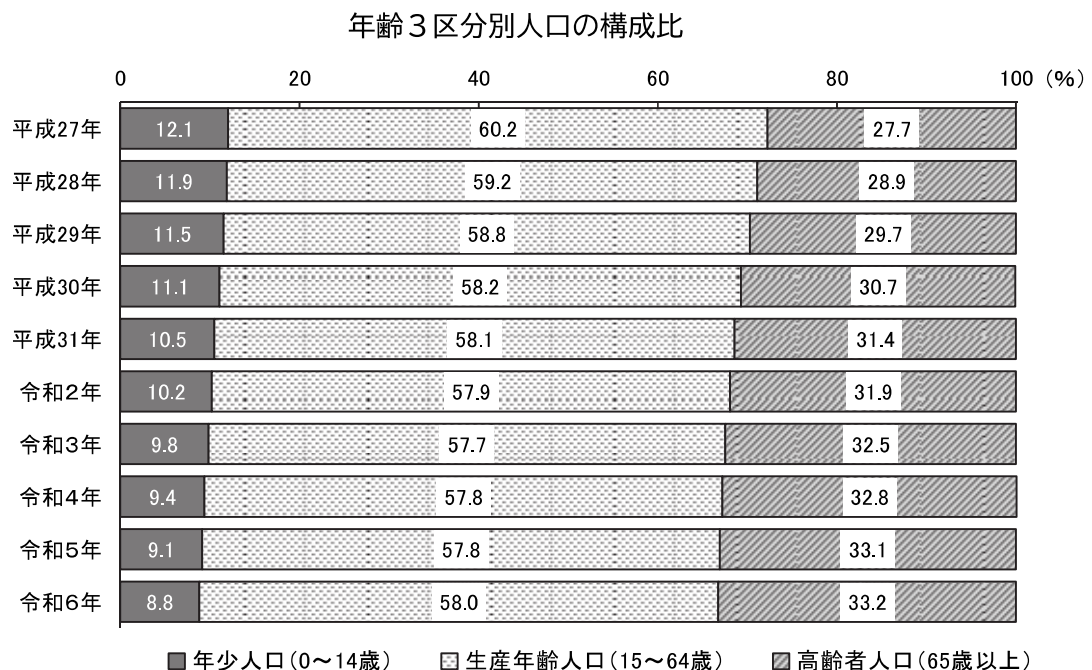
(1) 人口・世帯の推移

令和6年1月1日現在の本町の総人口は20,207人となっています。平成27年からの推移をみると、緩やかな減少が続いています。

年齢3区分別にみると、15歳未満の年少人口及び15～64歳の生産年齢人口は減少が続いており、令和6年の年少人口の割合は8.8%、生産年齢人口の割合は58.0%となっています。65歳以上の高齢者人口は増加が続いており、その割合は33.2%となっています。



資料:住民基本台帳(各年1月1日現在)

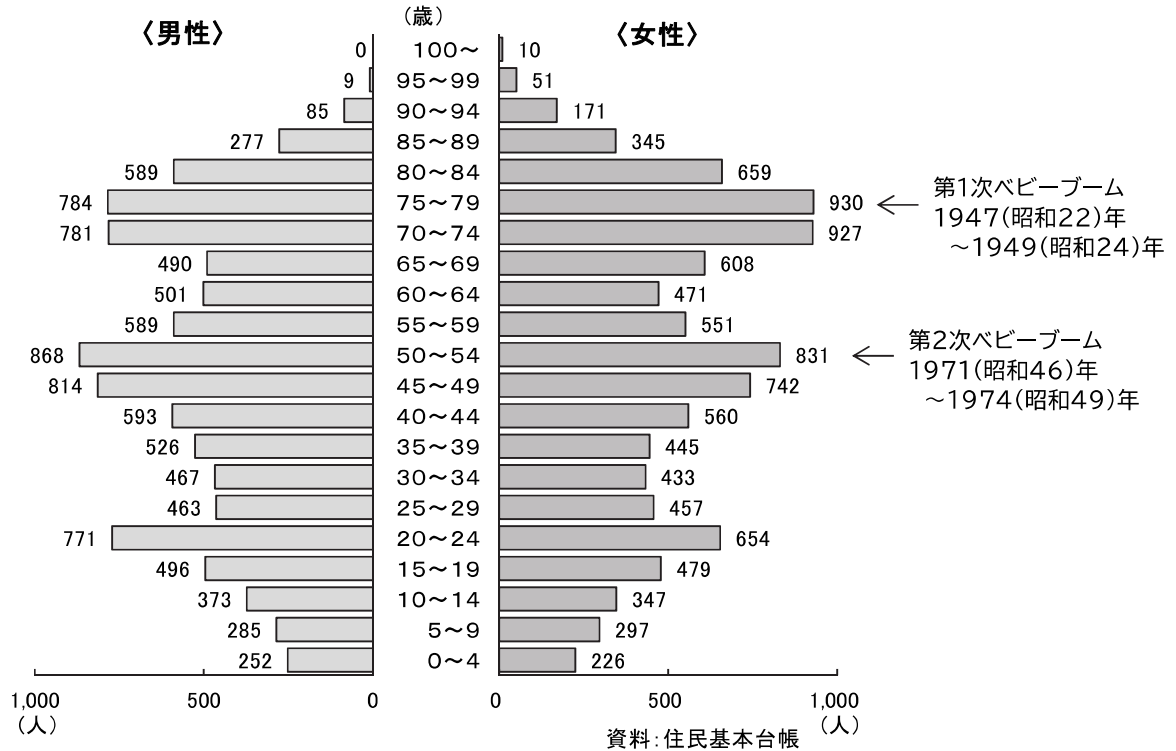


資料:住民基本台帳(各年1月1日現在)

(2) 人口構成

人口ピラミッドでは団塊の世代を含む70歳代が男性、女性とも最も多くなっています。

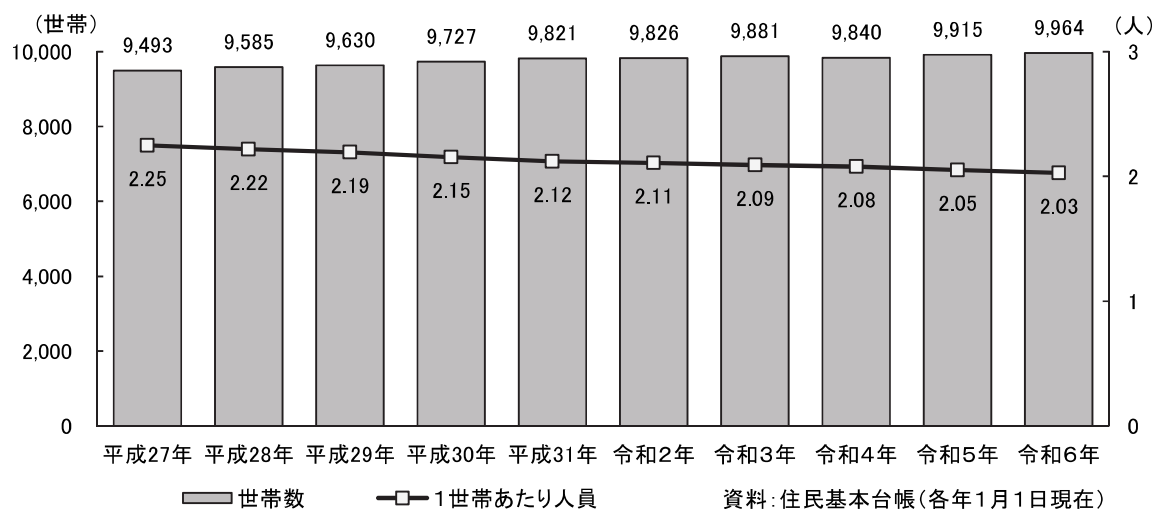
年齢5歳階級別人口（令和6年1月1日現在）



(3) 世帯の状況

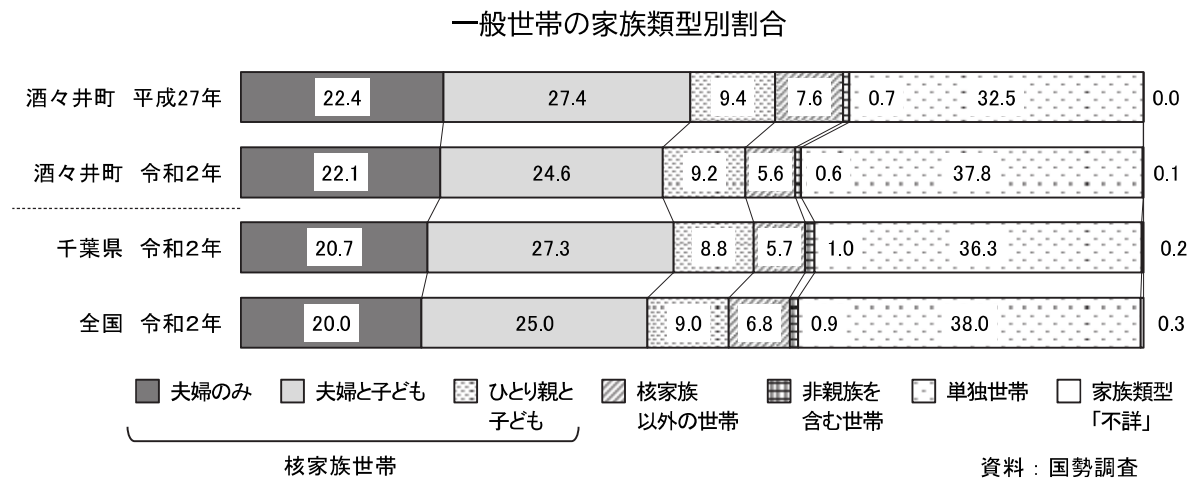
世帯数は令和4年にいっとき減少したものの、増加を続けており、令和6年9,964世帯となっています。一方、1世帯あたりの人員は減少しており、令和6年2.03人となっています。

世帯数及び1世帯あたりの人員の推移



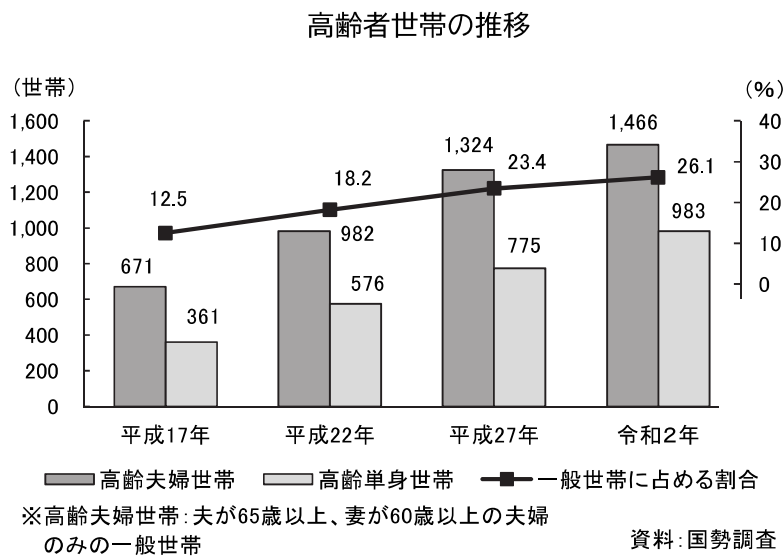
(4) 世帯の家族類型

一般世帯の世帯構成の推移をみると、単独世帯の割合が増加しています。令和2年を千葉県・全国と比較すると、夫婦のみの世帯の割合がやや高く、夫婦と子どもの世帯割合がやや低くなっています。



(5) 高齢者世帯

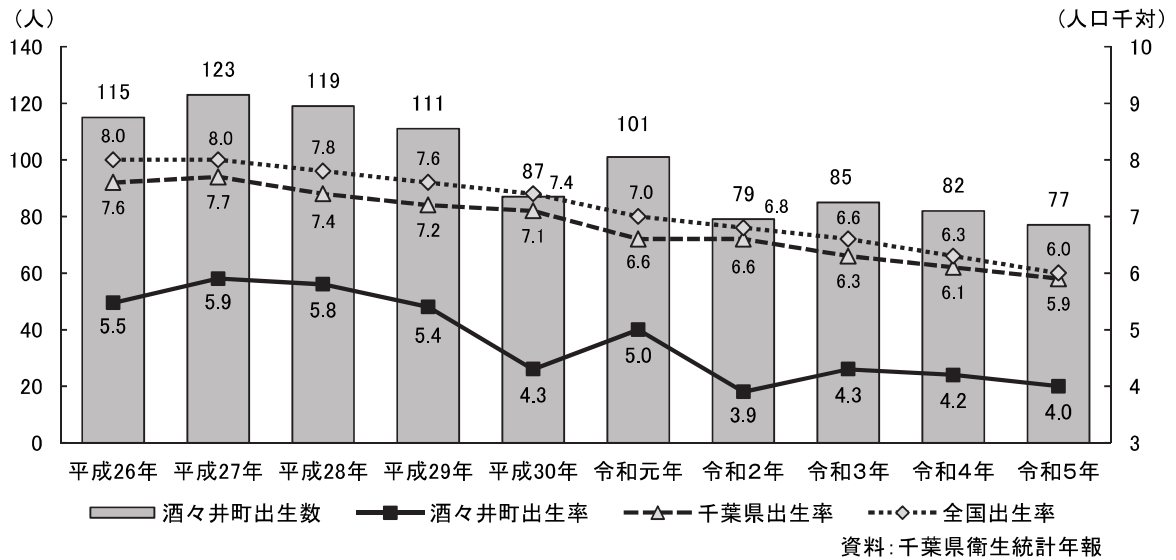
令和2年国勢調査による一般世帯数は、9,366世帯であり、高齢夫婦世帯1,466世帯、一人暮らし高齢者983世帯、こうした高齢者のみの世帯は増え続けており、一般世帯に占める割合は26.1%となっています。



(6) 出生の状況

出生数・出生率ともに減少を続けていましたが、令和元年に増加し、令和3年及び4年は微増から横ばいとなっています。令和5年の出生数は77人、出生率は千葉県・全国を下回る水準の4.0となっています。

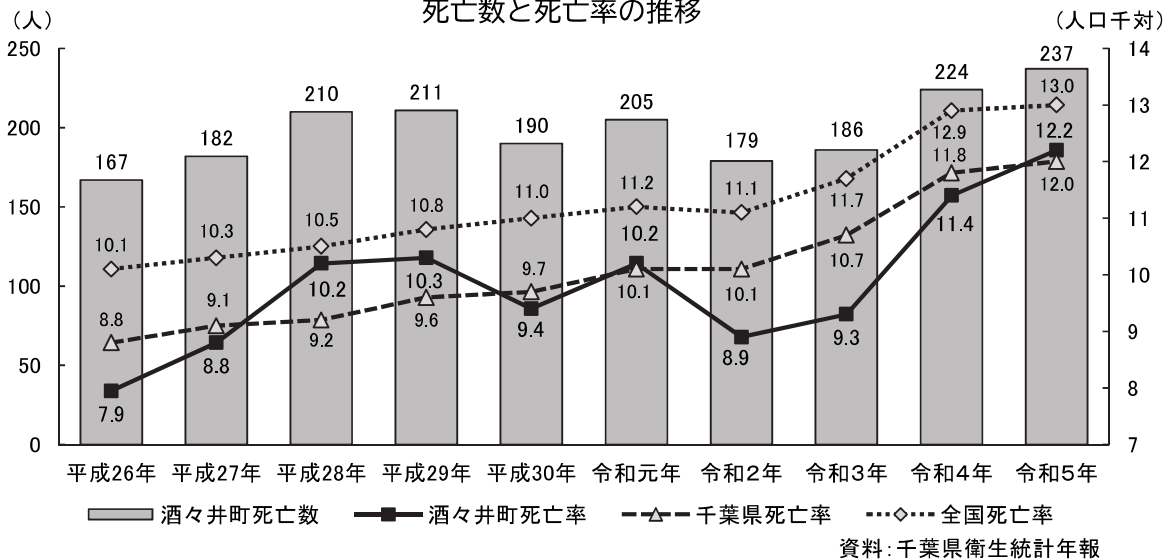
出生数と出生率の推移



(7) 死亡の状況

死亡数・死亡率ともに平成29年までは増加、平成30年及び令和2年は減少となりましたが、令和3年以降はふたたび増加となっています。死亡率は全国を下回る水準で推移していますが、令和5年は千葉県を上回る12.2となっています。

死亡数と死亡率の推移

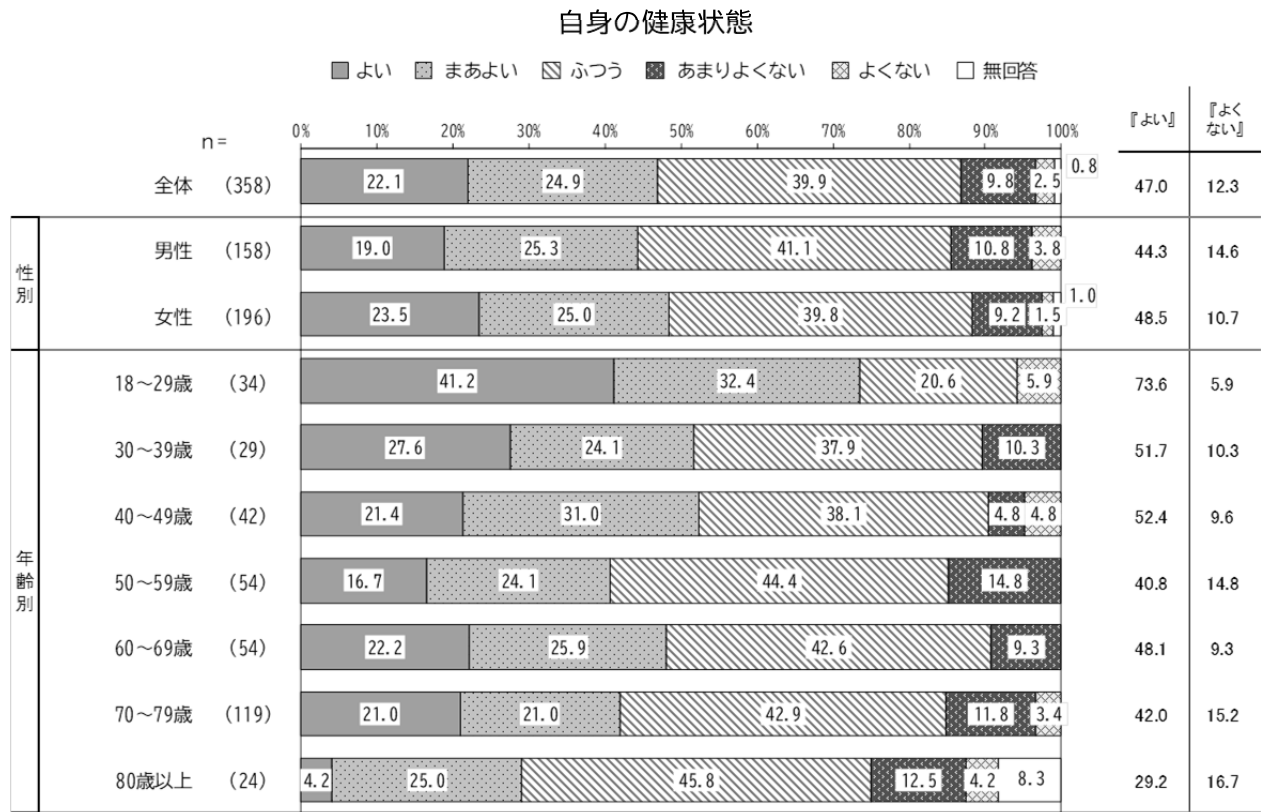


2 町民の健康状態

(1) アンケート調査から見る健康状態

自身の健康状態について「よい」「まあよい」を合わせた『よい』は47.0%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた『よくない』は12.3%となっています。

年代別では、『よくない』は80歳以上、70歳代、50歳代の順となっています。



(2) 平均自立期間と平均余命

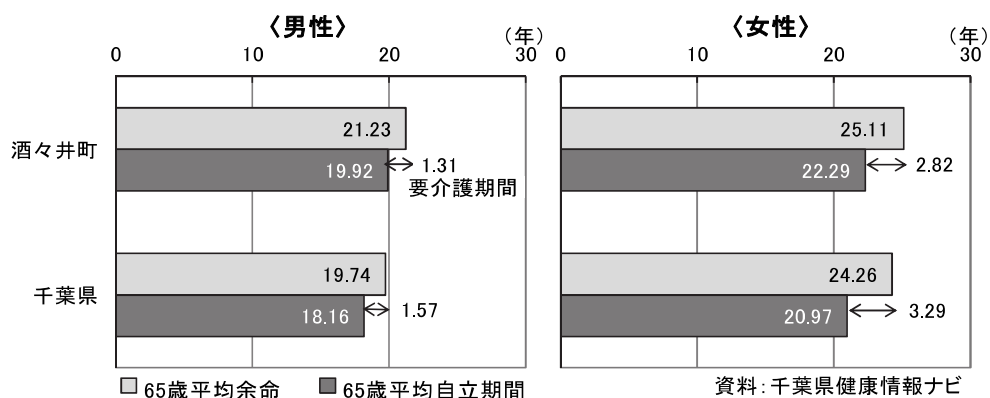
本町の65歳平均余命は、男性21.23年、女性25.11年ですが、千葉県と比較すると男性、女性いずれも長くなっています。

本町の65歳時点での平均自立期間は男性19.92年、女性22.29年ですが、千葉県と比較すると男性、女性いずれも長くなっています。

平均余命と平均自立期間の差である要介護期間は、男性は1.31年、女性は2.82年、千葉県と比較すると男性、女性いずれも短くなっています。

※平均自立期間は、一般的な健康寿命とは計算が異なります。

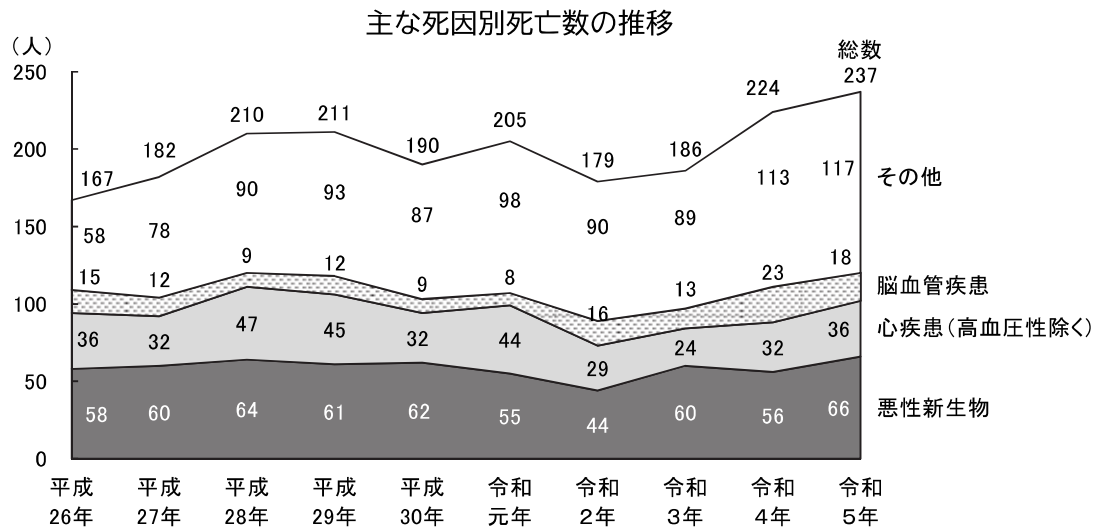
平均自立期間と平均余命の差（令和2年）



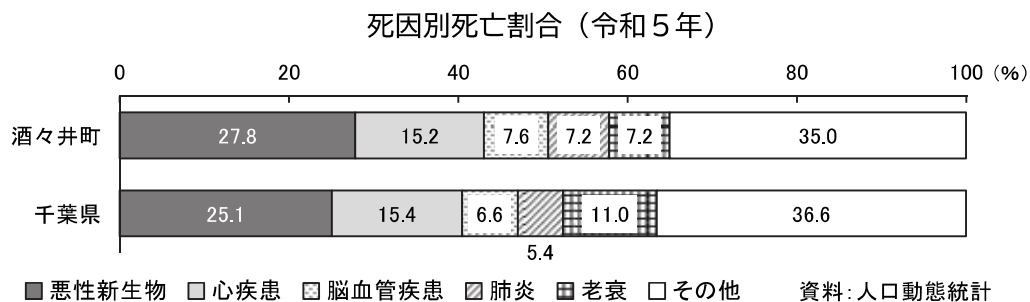
(3) 主要死因別死亡数

主要死因別死亡数は、令和5年、第1位が「悪性新生物（がん）」、第2位が「心疾患（高血圧性を除く）」、第3位が「脳血管疾患」の順となっています。

千葉県と死因別死亡者割合を比較してみると、本町は悪性新生物、脳血管疾患、肺炎の割合が千葉県を上回ります。



資料：千葉県衛生統計年報（令和5年は国の人口動態統計）



ライフステージ別死因順位では、15～24歳の男性、25～39歳の男女とも「自殺」が第1位、女性25～39歳は「悪性新生物」「肝疾患」「自殺」が同率で第1位となっています。40～64歳及び65～74歳では男女とも「悪性新生物」、75歳以上では男性は「悪性新生物」、女性は「心疾患（高血圧性を除く）」が第1位となっています。

ライフステージ別死因順位（平成29年～令和3年）

男性

	0～4歳	5～14歳	15～24歳	25～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
第1位			自殺	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
			66.7%	66.7%	36.2%	50.5%	29.2%
第2位			敗血症	先天奇形、変形及び染色体異常	心疾患（高血圧性を除く）	心疾患（高血圧性を除く）	心疾患（高血圧性を除く）
			33.3%	33.3%	20.7%	15.0%	15.8%
第3位					自殺	脳血管疾患	肺炎
					10.3%	6.5%	9.7%
第4位					糖尿病／肺炎／不慮の事故	肺炎	脳血管疾患
						3.7%	7.5%
第5位						腎不全	老衰
					3.4%	2.8%	5.0%

女性

	0～4歳	5～14歳	15～24歳	25～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
第1位	周産期に発生した病態	悪性新生物		悪性新生物／肝疾患／自殺	悪性新生物	悪性新生物	心疾患（高血圧性を除く）
	100.0%	100.0%			58.6%	48.1%	21.9%
第2位				33.3%	自殺	心疾患（高血圧性を除く）	老衰
					10.3%	18.5%	18.2%
第3位					心疾患（高血圧性を除く）／脳血管疾患	不慮の事故	悪性新生物
						5.6%	16.2%
第4位						脊髄性筋萎縮症及び関連症候群／脳血管疾患／肺炎	肺炎
					6.9%		6.8%
第5位					大動脈瘤及び解離／肺炎／不慮の事故		脳血管疾患
					3.4%	3.7%	5.4%

※下段は死亡総数に占める割合

資料：千葉県健康情報ナビ

(4) 標準化死亡比

国を基準（100）とした場合の標準化死亡比をみると、本町が100を超えるのは、男性については心不全127.3、肺炎106.9、腎不全100.7、女性については心不全144.5、肺炎113.2、自殺104.4、悪性新生物（胃）104.2、心疾患102.5、不慮の事故100.9をあげることができます。

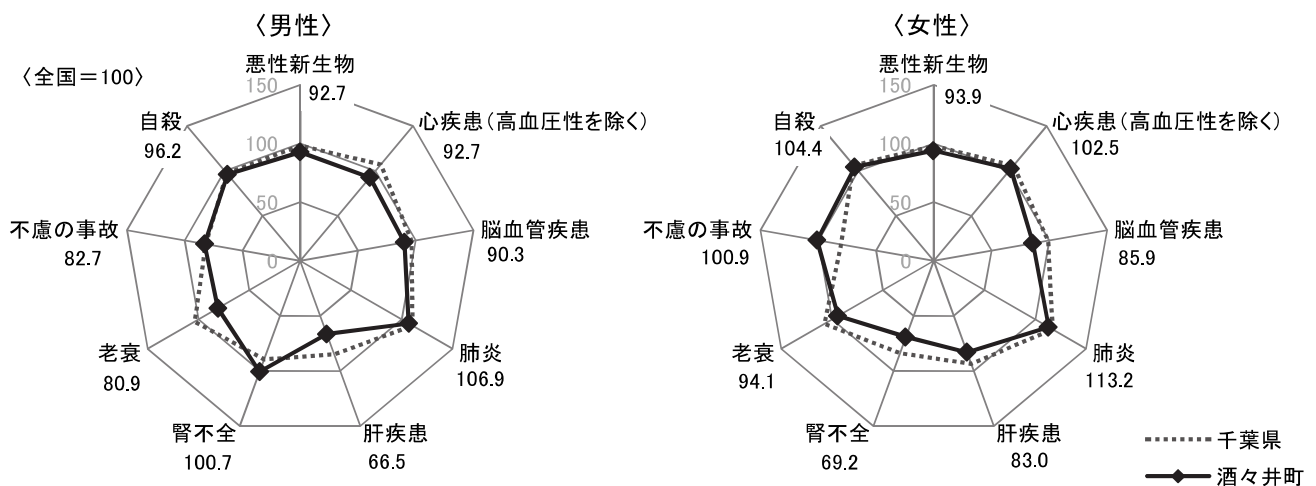
主要死因の標準化死亡比（バイズ推定値）（平成30年～令和4年）

全国＝100

	男性		女性	
	酒々井町	千葉県	酒々井町	千葉県
全死因	86.3	99.3	90.3	100.9
悪性新生物	92.7	98.2	93.9	98.1
胃	88.3	101.0	104.2	97.0
大腸	89.1	97.5	92.3	94.7
肝及び肝内胆管	91.9	92.2	80.7	87.8
気管、気管支及び肺	94.6	96.3	96.1	100.0
心疾患（高血圧性を除く）	92.7	107.0	102.5	105.9
急性心筋梗塞	62.8	95.9	60.9	100.4
心不全	127.3	105.5	144.5	103.9
脳血管疾患	90.3	96.5	85.9	99.2
脳内出血	95.4	92.2	90.4	94.5
脳梗塞	90.9	99.2	88.3	100.4
肺炎	106.9	110.5	113.2	117.0
肝疾患	66.5	84.9	83.0	93.5
腎不全	100.7	89.4	69.2	83.9
老衰	80.9	103.8	94.1	107.6
不慮の事故	82.7	81.6	100.9	80.2
自殺	96.2	97.1	104.4	106.2

資料：人口動態保健所・市区町村別統計

※標準化死亡比とは：年齢構成が異なる集団間の死亡傾向を比較するものとして用いられ、標準化死亡比が基準値(100)より大きい場合は、その地域の死亡状況が、基準となる集団より悪いことを示します。

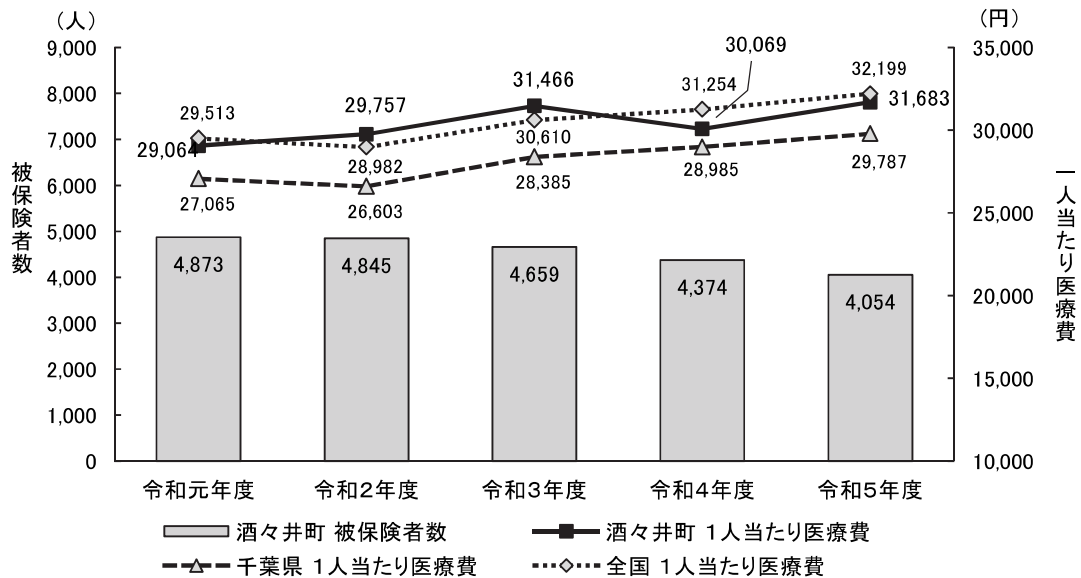


資料：平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計

(5) 国民健康保険の状況

国民健康保険の被保険者数は、減少していますが、1人当たり総医療費(ひと月平均)は増加傾向にあり、千葉県を上回る推移が続いています。令和5年度、3万1,683円となっています。

国民健康保険の被保険者数と1人当たり総医療費(ひと月平均)と推移

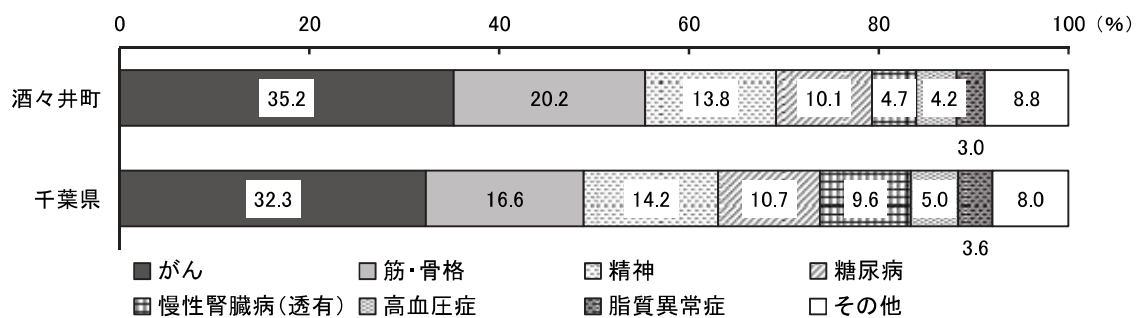


資料: KDB 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

国民健康保険における最大医療資源傷病名別の医療費割合をみると、がん、筋・骨格、精神の順で高い割合となっており、合わせると69.2%となります。上位の順は千葉県と同様ですが、本町はがん、筋・骨格の割合が県と比べて高くなっています。

生活習慣病の基礎疾患である糖尿病、高血圧症、脂質異常症の割合は、合わせると約17%と、千葉県と比べると、やや低い割合となっています。

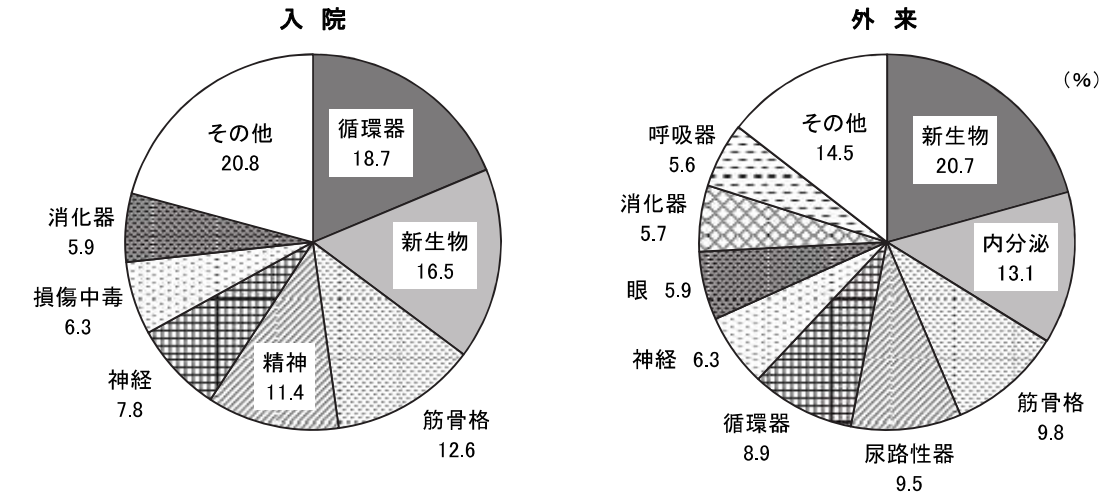
最大医療資源傷病名別の医療費割合(令和5年度)



資料: KDB 地域の全体像の把握

令和5年度の大分類別医療費の割合でみると、入院では循環器が18.7%を占めており、次いで新生物、筋骨格の割合が高くなっています。外来では新生物が20.7%を占めており、次いで内分泌、筋骨格、尿路性器となっています。

大分類別医療費の割合（令和5年度）



資料：KDB 医療費分析(2)大、中、細小分類

大分類における主な疾病の具体例

大分類	主な疾病の具体例	大分類	主な疾病の具体例
循環器系	高血圧症、脳梗塞、心筋梗塞 等	損傷中毒	骨折、関節疾患 等
新生物	がん、良性の腫瘍	消化器系	胃潰瘍、腸炎、ヘルニア 等
筋骨格	骨折、関節障害、リウマチ 等	内分泌系	糖尿病、脂質異常症 等
精神	認知症、統合失調症、うつ病 等	尿路性器	腎不全（透析）、糖尿病性腎症 等
神経	パーキンソン病、自律神経障害 等	眼	緑内障、白内障 等

細小分類別医療費の割合でみると、内分泌系である糖尿病が最も高い割合を占めており、全体の5.4%となっています。2位には入院及び外来で高い割合を占めていた筋骨格の関節疾患4.8%、同じく高い割合であった新生物の肺がん3.8%となっています。

細小分類別医療費（入院＋外来）の割合上位10位（令和5年度）

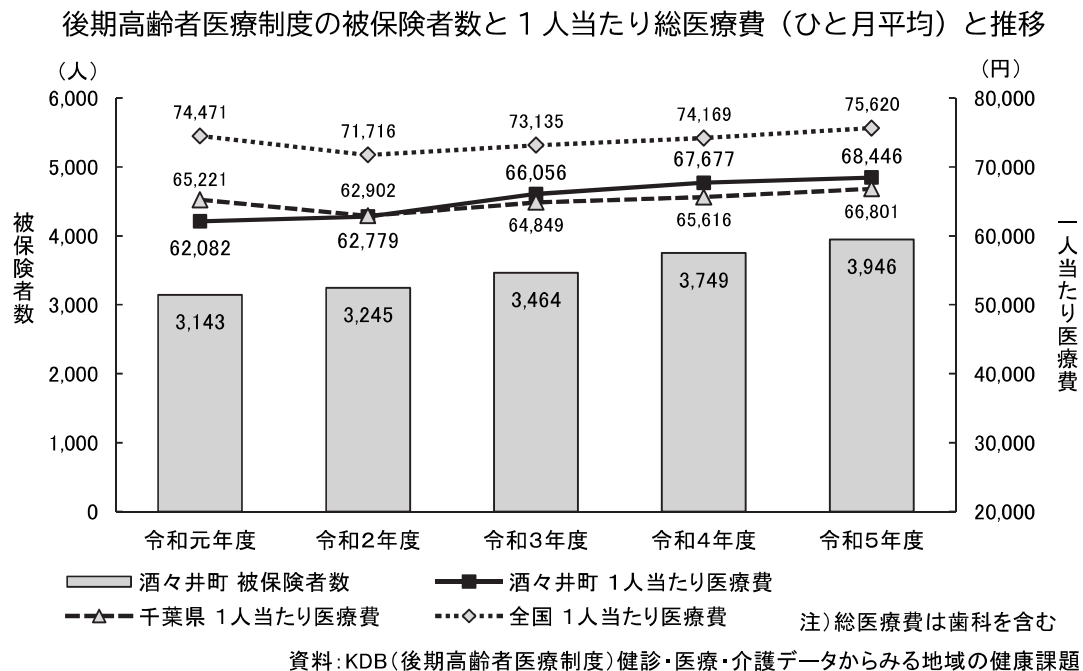
順位	大分類	疾患名	割合 (%)	順位	大分類	疾患名	割合 (%)
1位	内分泌系	糖尿病	5.4	6位	尿路性器	慢性腎臓病（透析あり）	2.5
2位	筋骨格	関節疾患	4.8	7位	新生物	乳がん	2.3
3位	新生物	肺がん	3.8	8位	循環器系	高血圧症	2.3
4位	精神	統合失調症	3.6	9位	筋骨格	骨折	2.1
5位	循環器系	不整脈	3.0	10位	神経	パーキンソン病	1.6

注）全体の医療費（入院＋外来）を100%として算出

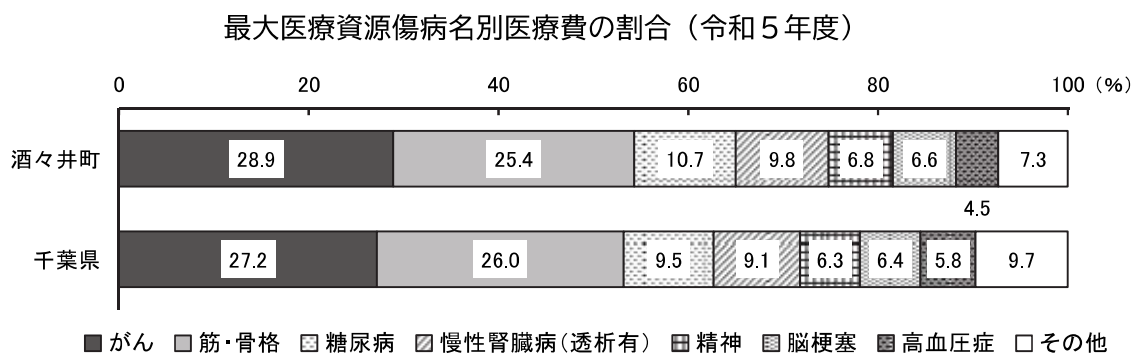
資料：KDB 医療費分析（2）大、中、細小分類

(6) 後期高齢者医療制度の状況

後期高齢者医療制度の被保険者数は、増加傾向にあります。1人当たりの総医療費(ひと月平均)は増加傾向となっており、千葉県と比べると大きな違いはみられませんが、全国よりも低くなっています。



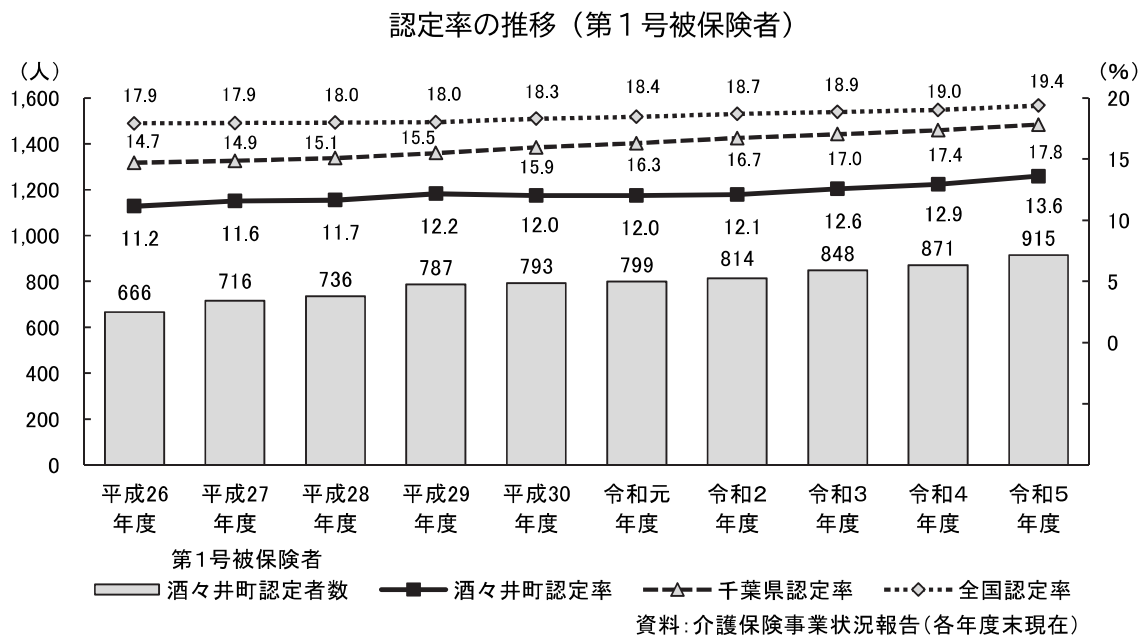
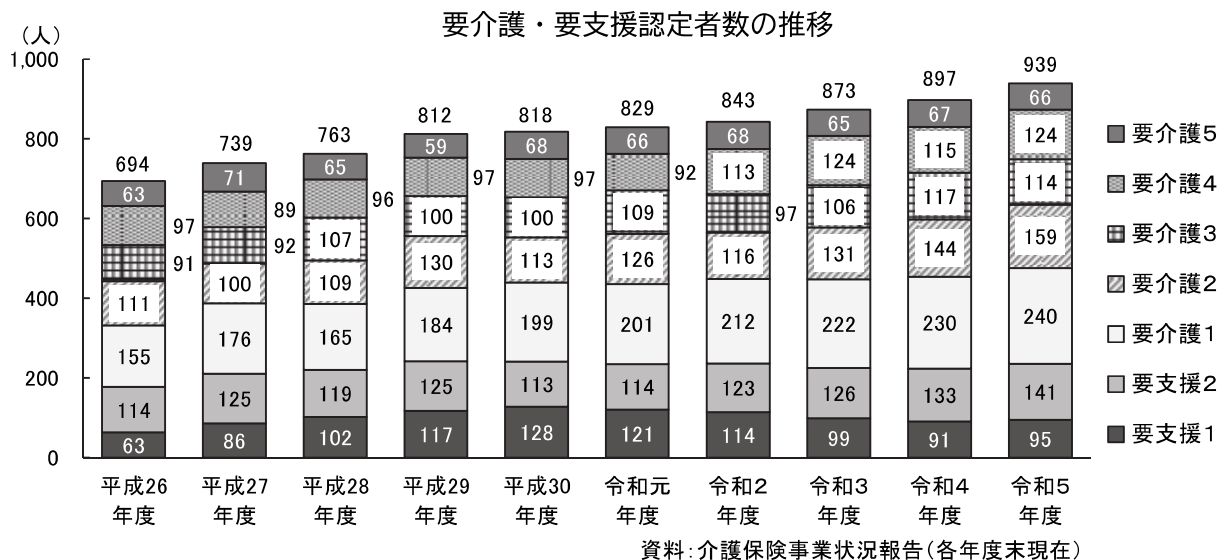
後期高齢者医療制度における最大医療資源傷病名別医療費の割合をみると、千葉県と同様に、がん、筋・骨格、糖尿病の順で高い割合となっており、合わせると65.0%となります。



(7) 介護保険の状況

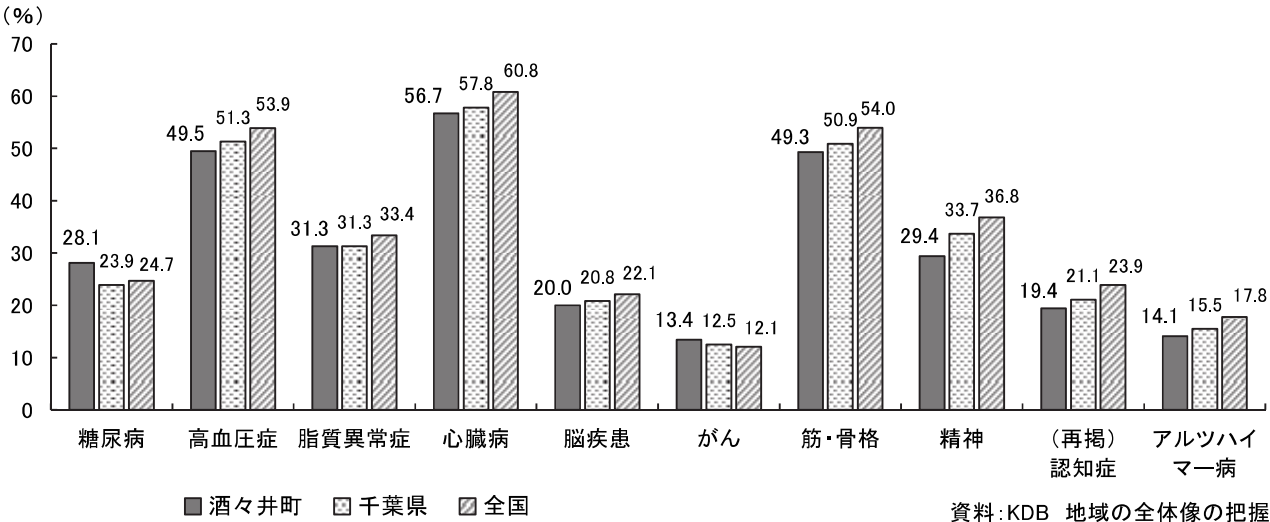
要支援・要介護認定者数は増加が続いており、令和5年度939人となっています。認定度別にみると、要支援2、要介護1、要介護2の認定者数の増加が大きくなっています。

65歳以上である第1号被保険者の認定率は微増傾向にありますが、千葉県・全国と比べて低い認定率となっています。



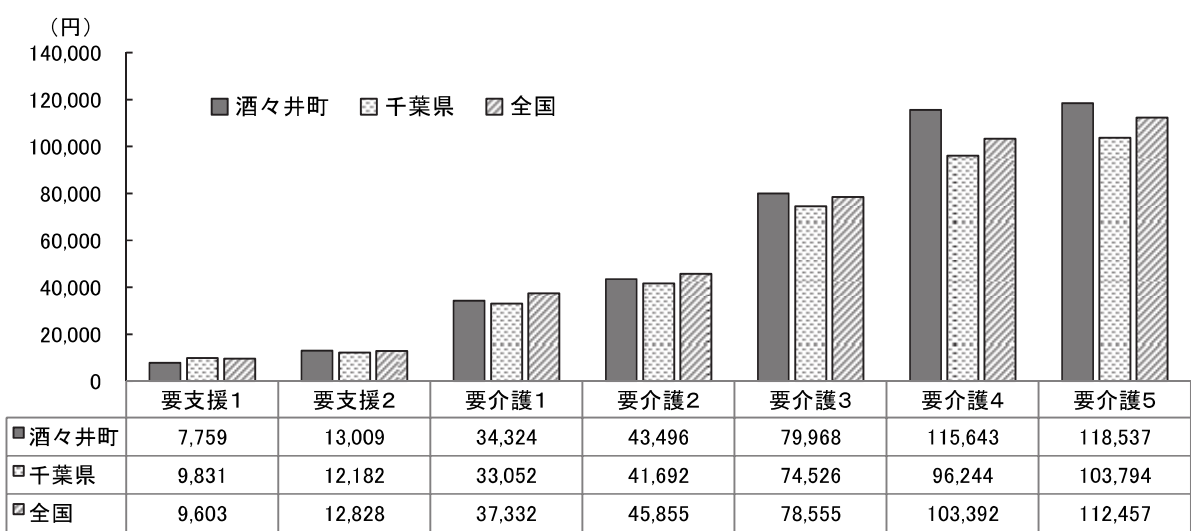
令和5年度の要支援・要介護認定者の有病状況では、心臓病が最も高く56.7%となっており、次いで、高血圧症が49.5%、筋・骨格が49.3%ですが、いずれも千葉県・全国と比べると低い状況です。糖尿病においては、千葉県・全国よりも高く28.1%となっています。

要支援・要介護認定者の有病状況（令和5年度）



令和5年度の要支援・要介護度別の1件当たり給付費をみると、要支援1を除き多くの要支援・要介護度で、千葉県・全国を上回っており、特に、要介護4、要介護5で高くなっています。

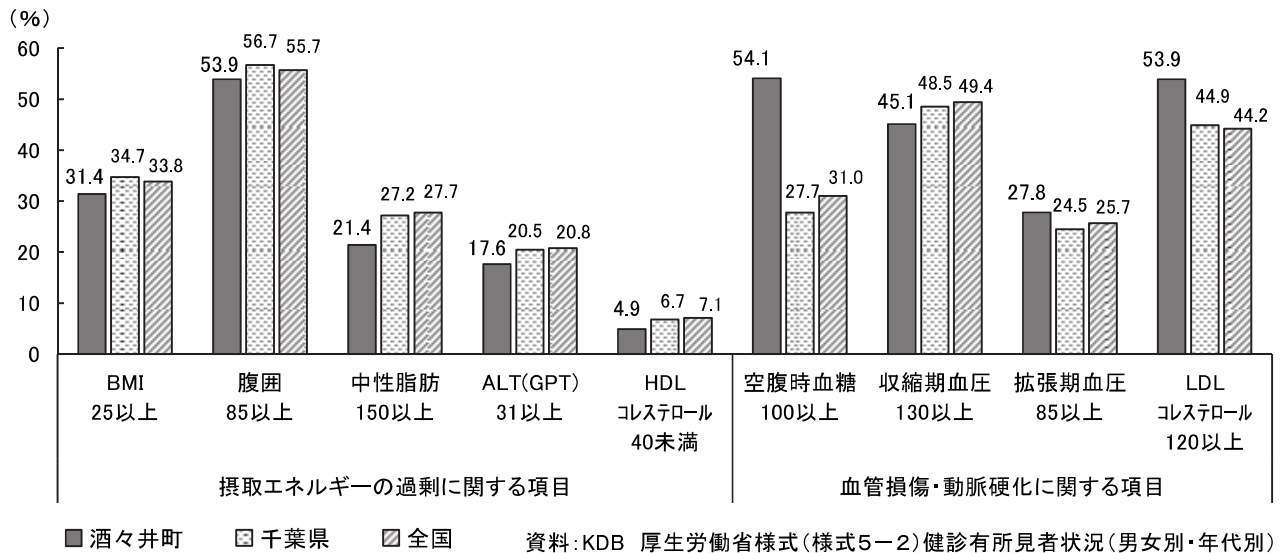
要支援・要介護度別の1件当たり給付費の状況（令和5年度）



(8) 特定健康診査有所見の状況

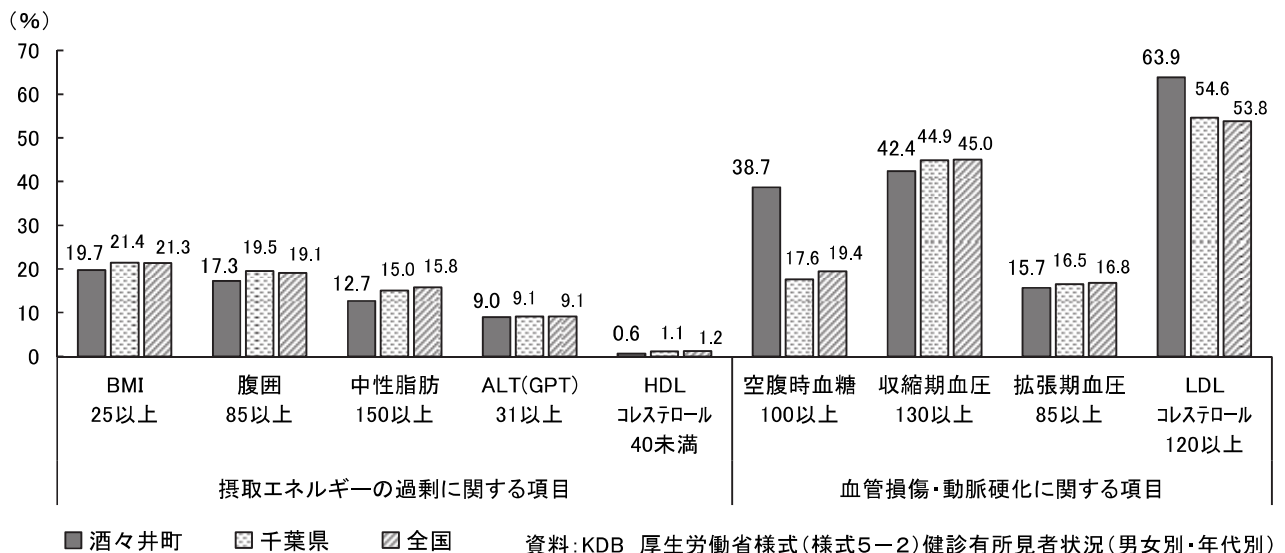
令和5年度の男性の健診有所見者の状況をみると、血管損傷・動脈硬化に関する項目のうち空腹時血糖、拡張期血圧、LDL コレステロール120以上の3項目で千葉県・全国を上回ります。

男性の健診有所見者の状況（令和5年度）



令和5年度の女性の健診有所見者の状況をみると、男性と似た状況にあり、血管損傷・動脈硬化に関する項目のうち空腹時血糖、LDL コレステロール120以上で千葉県・全国を上回ります。

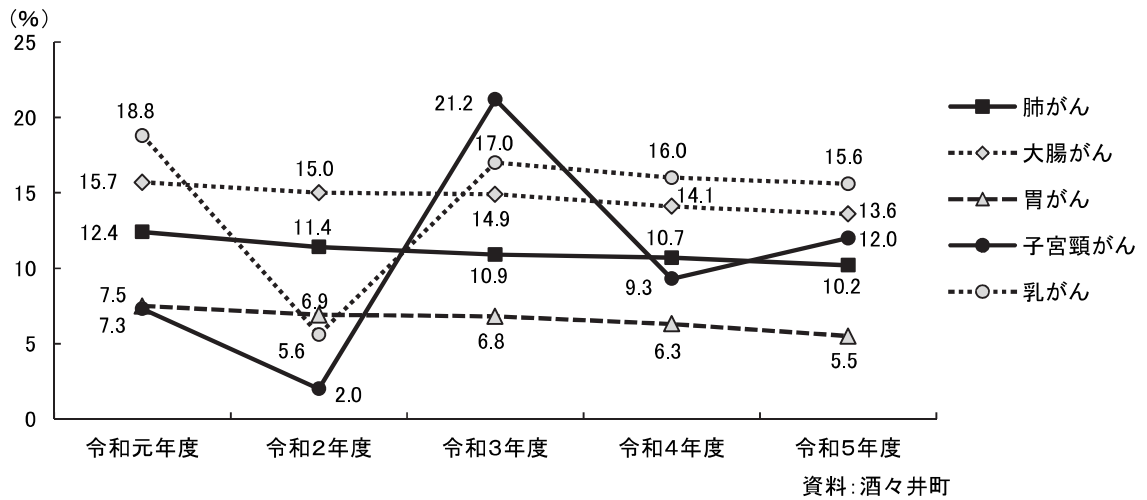
女性の健診有所見者の状況（令和5年度）



(9) がん検診受診率

がん検診受診率は、肺がん、大腸がん、胃がん、乳がんは減少傾向にあります。子宮頸がんは年度による増減が大きくなっています。

がん検診受診率の推移



(10) 歯科検診の状況

成人歯科検診の受診率の推移は、令和2年度、3年度は減少したものの、令和4年度、5年度は増加しています。

成人歯科検診受診率と受診者数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,157	13,228	13,253	12,916	13,200
受診者数(人)	68	61	46	98	107
受診率(%)	0.5	0.5	0.3	0.8	0.8

資料: 酒々井町保健センター